

■ 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループ第89期中間期(2017年4月1日から2017年9月30日まで)の決算をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当中間期は、前期に引き続き電池をコアとした事業構造への転換を加速させるため、既に当社に吸収合併したニッケル水素電池ならびにリチウム電池の両生産子会社に続き、アルカリ乾電池の生産子会社であるFDKエナジー株式会社を本年7月に吸収合併いたしました。これにより事業の一体運営によるスピーディーな経営判断と経営資源の相互活用を図り、電池事業のさらなる成長に向けた体制を構築いたしました。

当中間期の経営成績につきましては、売上高は、前年同期に比べ10億78百万円減の359億77百万円と減収となりましたが、営業利益は前年同期に比べ5億10百万円増と回復し、1億34百万円と黒字転換しました。経常利益は営業外費用として固定資産売却損38百万円の計上などにより4百万円となり、親会社株主に帰属する中間純損失は1億75百万円となりました。当中間期の業績の詳細につきましては、当報告書の4ページをご覧ください。

中間配当につきましては、未だ欠損状態でありますので、誠に遺憾ではございますが、見送らせていただきたいと存じます。株主の皆様には誠に申し訳なく、心よりお詫び申し上げます。

当社は当社グループの保有する電池、電子およびそれらのシナジー技術による製品を通じて様々な形で課題を解決し、社会の持続的な発展に寄与し続ける企業であることを目指しております。

下期以降につきましては、車載、IoT、5G(第5世代移動通信システム)など成長が著しく期待されるモビリティの分野での売上拡大を図ってまいります。また、前期に開発した全固体リチウムイオン電池用正極材料の能力の引き上げに注力し、引き続き開発を進めてまいります。

電子事業につきましては、スピードを上げて構造改革を実行し、収益力の改善を図り、企業体質を強化することで当社グループの企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き当社グループをご支援賜りますようお願い申し上げます。

2017年12月



代表取締役社長

大橋 洋一

Profile プロフィール

1959年8月27日生まれ

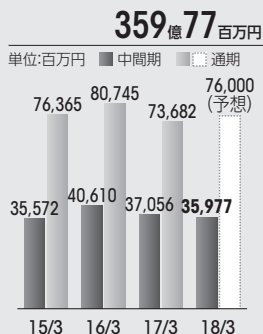
1982年4月 富士通(株)入社

2017年4月 当社顧問就任

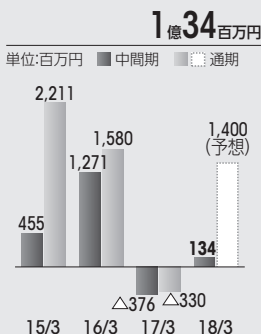
2017年6月 当社代表取締役社長就任

■ 連結決算ハイライト

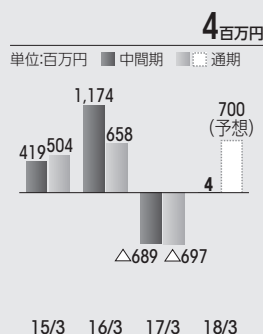
売上高



営業利益又は営業損失(△)



経常利益又は経常損失(△)



親会社株主に帰属する中間(当期)純利益又は親会社株主に帰属する中間(当期)純損失(△)

